

サロンあべの

VOL.159

〈サロン・あべの〉8月の出会い

99年8月1日(日)、第26回あべのカーニバルが阿倍野区役所と工芸高校のグラウンドで開催されました。

例年どおり〈サロン・あべの〉は、工芸高校グラウンドの「なんでも市どおり」に『さろん亭』の出店で参加しました。

当日は、午後1時頃から開店準備を始めました。店頭には、サロングッズの絵葉書や好評の一筆箋などが並んでいきます。次にテント内では皆さんからご提供していただいた品物が、処狭しと並べられています。

午後3時に開店なのですが、開店前から多くのお客さんが、『さろん亭』に集まってくださり、早くから賑いを見せていました。

品定めをされるお客さんと販売をお手伝いして下さる方々

さろん亭



の真剣なやりとりの声が店頭で交わされます。開店した時は、品物でいっぱいだったテントの中も人気の高い石鹸やタオルなどから、あつという間に売れてしまいました。

品物も少なくなっていく、そ

感謝

「さろん亭」へのご協力、ご支援をありがとうございました。また、カンパ、はがき、ビデオテープ、お茶菓子、お茶、バザー用品、冊子等の寄贈、またサロングッズのお買上げありがとうございます。

赤松菊間、旭 純子、安達尚子、
阿倍野肢体部カークラブ(竹下秀樹・辻本輝子・吉田 毅)、石田 律、
石田花子、伊勢村和子、井上礼子、
植松菊雄、上平幸雄、大高澄子、
大谷美津子、大西暉子、加賀谷 正、
柿岡 緑、加藤ナムティップ、木口久子、
北澤美津子、蔵田 均、神城昭子、
小島敬大、小嶺広倫、阪口悦子、
目 和子、清水郁子、下村幸幸、

して、午後6時 無事に閉店。

多くの方々の理解に支えられ

『さろん亭』は熱い一日でした。

(山村 貴司)

ありがとうございました。毎年のごですが、皆様から多くの品物のご寄贈、暑い中でカーニバル前日の品物の値札付け、当日の販売など、さまざまのご協力、お手伝いなどしていただいた方々に感謝しております。

ます。そして、品物を買っていただいた皆様方にも感謝しております。
『さろん亭』収益金
金八三、三五〇円
本当にありがとうございました。
ハサロン・あべのV運営委員会

城山敦子、生野智子、菅原秀子、
杉山葛枝、大丸久美子、高尾澄男、
竹村定子、竹島照子、田中美佐保、
田辺徳孝、谷口安子、田村昌子、
辻本輝子、手島八重子、出口正敏・美和
照井邦子、富田万里子、富田慶子、
友田明子、中岡久美子、中村宣子、
中村久子、鍋島真紗世、永堀厚子、
萩原弘巳、林 三起子、原田咲子・
友弥・仁・博子、久木 浩、平尾章子、
表谷恵美子、藤井さゆり、宝示愛子、
松田峰子、松谷裕子、丸山寿美子、
村田能子、八木千代、山口豊子、
山田絹代、山口富美子、倭 満也子、
山野莊一、山根匡子、山本敏子、
山村貴司、吉原和朗、その他の方々、



ピア・カウンセリングを考える

—ありのままの自分を受け入れ、
生き生きした生活を送るために—

18

伊藤智佳子

△障害者プランの個々の施策に関わる点

Ⅰ 地域で共に生活するためにⅠV

(1) 地域における自立の支援(精神障害者の社会復帰の支援)

わが国における精神障害者の数は、全体で一五七万人、そのうち精神病院入院患者三三万人、在宅一二四万人である(厚生省『患者調査』一九九三年)。一九八七年に精神衛生法が改正され、精神保健法が成立したが、この法律により、住居対策として援護寮や福祉ホーム、共同住居などが制度化され、実際にも作られ始めた。また就労援助対策として、通所授産施設が法的に位置づけられ、精神障害者の社会復帰施策の充実が期待されたものの、それほど前進はみられなかった。精神障害者が地域で暮らしていくための条件整備は、身体障害者が地域で暮らしていくための条件整備と比べると大幅に遅れているのが現状といえる。

「障害者プラン」でもこれまでほとんど着手されてこなかった精神障害者

の社会復帰施策の推進や、精神科医療のあり方や精神科医療と保健、福祉の連携の新たな展開の必要性が述べられている。これらは評価点の一つといえるよう。

(2) 介護サービスの充実

プランの中で、施設よりも地域・在宅での自立生活を支える施策に重点が置かれたことは、画期的なことといえる。しかし、地域での自立生活は、ホームヘルプサービスやショートステイ、デイサービスの量的整備だけでは成り立たない場合がある。たとえば、ホームヘルパーは、以前より改善されてきたとはいえないものの、派遣時間帯が午前9時から午後5時までであったり、土日、祝祭日の派遣は行われないなど、派遣体制に限界のある自治体は多い。また、たとえば、障害をもつ女性と障害をもついない男性が結婚し、生活を送る場合、夫が介助者になりうると見なされ、ホームヘルパーの派遣をしてもらえない場合がある。さらに、障害をもつ女性と障害をもついない男

【わが国におけるピア・カウンセリングの現状から確認できたこと②】

―障害者基本法、障害者基本計画、生活支援事業との関わりから⑤―

前号(VOL.158)では、障害者プランの評価を、障害者プラン全体に関わる点から、筆者なりにまとめた。今回は、障害者プランの個々の施策に関わる点から障害者プランの評価を試みる。

性が結婚し、子育てをする場合、子育てをも含む介助を行うことは現行のホームヘルプサービスの中では認められていない。

ホームヘルパーの量的拡充と同時に、派遣時間、派遣日数などが改善されなければ、さらには、介助を必要とする障害者が求める介助内容に応じた派遣などが行われるようにならないければ、重度障害者が性をも含む一人の人間として「当たり前」の生活を「当たり前」に送ることはできにくいといえよう。

好評のエッセイ!

岡知史著

- 知らされない愛について
- ほんの少しの神に近い部分

◎ どちらも・700円

〒06-6691-1028 富田まで

造化の妙（ぞうかのみよう）

下手の横好きというか、私は俳句も嗜んでいる。作句を初めてもう十年近くになるが、一向にうまくならない。

そういうことをよく分かっていながら性懲りもなく、さまざま俳句誌に投句したり俳句コンクールに応募したりしている。そのうちの一句が某俳句誌に採用されたのである。しかも選者のA先生のご批評も添えてくださっている。

「明日香村史跡を包む蕎麦の花

恵雄」

評・奈良の民謡の懐柔をわかに詠へて詠まれ得た感がある。

これは昨年の秋に奈良、明日香村を訪れたときに詠んだ句で

晴れのち晴れ

⑫

稲垣 恵雄

ある。たとえまぐれにしても掲句されたことは、私にとつて細やかな喜びであり、またちよっぴり自信もついてきた。

ところでA先生が俳句に関して、こんなことをおっしゃっている。

「一般的に俳句を作るといいうが俳句は作るというより感ずるものであらねばならない。俳句を感ずるには、謙虚であらねばならない。己を限りなく無に近づけて、そこで自然の恩恵や造化の妙を感じ取るのが俳句である」

この中の「造化の妙」とは、宇宙や自然がいかに偉大で、すぐれているかという意味である。俳句に限らずどんな場合でも、宇宙や自然を軽視したりすることなく、謙虚で感謝の気持ちで受け入れていくことが大切だ、と教えられたような気がした。

★ 偲ぶ会

訃報が届いた。二十年も前の大学時代の友人だ。私が海外にいたときに葬儀も終わったらしい。そして、今月、彼を偲ぶ会を友人たちが行く。私はそれに出席しようと思う。

もともと私は、こういう集まりは好きではない。実際「偲ぶ会」という名の招待状にいままで応えた記憶がない。相手は、もう死んでしまっているのだから、そんな集まりをしても無駄ではないか、生き残った者の感傷ではないかとさえ思っていた。

そんな私が、こんどは電車を六時間以上も乗り継いで出席するつもりである。なぜだろう？

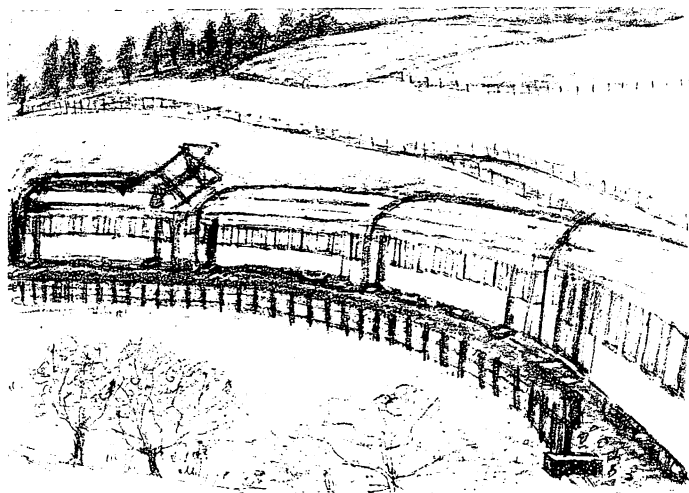
彼とは、この二十年間、ほとんど会っていない。大学時代の最後の一年間、私は彼の介護者として出会った。彼には脳性マヒという障害があり、介護の大学生を必要としていた。いまのような介護保障がほとんどない頃のことだ。

多くの大学生がボランティアとして在宅の障害者たちの介護にはいった。

彼と私は同い年だった。長い施設生活から出たばかりの彼は、私の目には社会常識のない幼い人に見えた。しかし、彼には、社会の現実を知らない無知な学生として私は映ったことだろう。最初からけっして息が合ったわけではなかったが、彼は日々の生活のために介護が必要だったし、私は自分でもよくわからないままに、彼の介護を通じて、見えてくる現実の重さに圧倒されて、彼の行動についていった。

二十年も前の、たった一年間のことなのに、私にはとても大きなものになっている。たぶん同じ大学生の友人の誰よりも、彼は私に多くのことを教えてくれたのである。

大学を卒業し、私が福祉方面に就職することを決めたときにも、彼が私に与えた影響の大きさを知らせるために、



私は彼を訪ねた。きっと皮肉を言いがらも、喜んでくれるにちがいないと思っただ。

だが、玄関で声をかけても返事が無い。不在かと思ったら「悪いけど一人

にしておいてくれ」と、電灯もつけない暗い部屋のなかから声がした。よくみると彼は私の目のまえに横たわっていた。あとで他の人に聞くと、もう誰に対しても、そういう態度だったらしい。それが、私が見た最後の姿だった。

あれから二十年。私には実にいろいろなことがあった。彼にも、もちろん、いろんなことがあっただろう。その後のことを偲ぶ会に集まった人たちは私に伝えてくれるだろう。短かったけれど、幸せな一生だったのだろうか。私にはそれが気にかかる。

できれば偲ぶ会で彼をよく知る人と、陽気な思い出話をしながら、しみみりと泣きたいものだと思う。こんなにも長く会わなかったのだから、計報だけでは涙も出ない。そしてこの機会に泣かなければ、いつまでも胸の奥に何かが残ってしまいそうな気がするのである。(知)

付記：「彼」のことは『知らされない愛について』（大阪ボランティア協会発行）の四六ページに紹介しています。

雑誌「朗読テープのご案内」
朗読グループ「ぼけっと」のご協力で、
Aサロン・あべのV紙一五八号の録音テープ（六〇分）が出来ました。

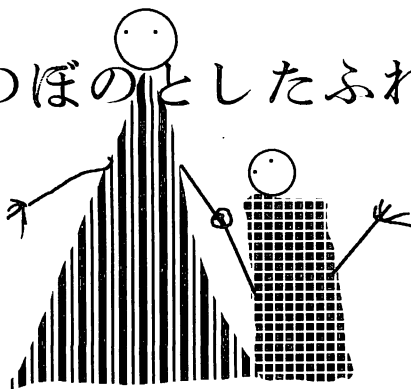
朗読テープ文庫

1. Aサロン・あべのV紙は、第一号より一五八号までそろっています。（五〇号は、九〇分と六〇分の二本のテープに、一〇〇号は、一二〇分テープ二本）
2. Aサロン・あべのV十周年記念誌「はあとが、はろー！」（九〇分テープ二本十一二〇分テープに収録）
3. 絵本「未知の記憶」（作・絵：中川勝彦）
4. 「ラジオたんぱ」放送『Aサロン・あべのV平成七年五月の出会い』放送分（三〇分）
5. エッセー集「逃げたヨナク」ボランティア活動の周辺」（岡本栄一著・糸でんわ音訳）
6. 「キミたちだけじゃ困るんだ」身障者だけで旅した十余年」（山田誠1995・223著・糸でんわ音訳）
7. 「金子みすゞへの旅」（島田陽子著九〇分テープ二本・糸でんわ音訳）
8. 「タヤけ空のオニヤンマ」（牧口一二著・九〇分テープ四本糸でんわ音訳）
9. 「ガベちゃん先生の自立宣言」（曾我部教子著・九〇分テープ五本糸でんわ音訳）

音訳）

いずれもご希望の方には、ダビング、または貸出しをしますので、富田までお申し出ください。（☎〇六・六六九一・一〇二八）

ほのぼのとしたふれあい、いかがです。



こころ ふれあう
一筆箋
1冊100枚綴 ¥150-

サロン・あべの運営資金にご協力ください。

植物あれこれ

第八回

山口康二郎

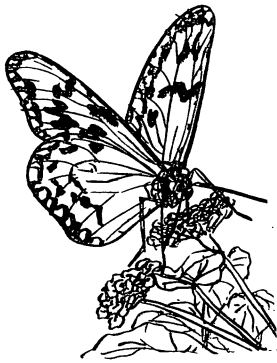
田舎ぐらし(三)

——イネの花へ風媒花V——

お盆休みを田舎で過ごしました。六月に田植えをした稲にもう実がついています。虫めがねで見ると小さな花が咲いています。皆さんは稲の花をご存じですか。サクラやキク、チューリップの花は誰でも知っていますが、イネの花を知っている人はあまりないのではないでしょうか。同じように花粉症で有名になったスギの花やマツの花を知っている人も少ないだろうと思います。花は植物にとって自分の子孫を残すといういちばん大切な器官です。そのために植物はいろいろな工夫をしています。色とりどりの花びらで昆虫を誘って受粉をする「虫媒花」、花粉袋が風によって飛ばされ受粉する「風媒化」が最もよく知られています。前者はいかに昆虫を魅きつけるかを色、形などで競っています。人にも

知られず花をつけ、風まかせの花粉袋をつける後者は、できるだけ小さく軽い花粉袋をより遠くへ飛ばすために工夫をこらしているのです。その手段は二つです。一つは花粉袋の数を多くし、受粉の可能性を高めることと、もう一つは同じ植物の群生です。同じ種類の植物が、何百本、何千本と狭いところに密生していれば受粉の確率は高くなるからです。

したがってイネなどの花は最初から花びらは不用で目立つ必要もなく、ほとんど剥き出しのまままで無数の花粉袋を持ったおしべと多数のめしべが集まったものが必要な



だけです。

花の目立たない植物で一つの種類が群生している植物は風媒花植物ではないかといえます。例えばススキ、アシなどの群落、スギ、カラマツの樹林(これはほとんどが人工林)、人間が栽培するムギ、イネなども手入れしながら育てている人工的な群生ですが、もともと群落を作る植物ですので密植することにより受精しやすくしているのです。

それにしても、日本の農産物の自給率が四割を下回ったという情報もあります。先進国といわれる中で、食料受給率が100%を割る国は日本しかありません。「新農業基本法」なるものが出来つつありますが、何よりも大切なのは主食である「米」の受給率を上げることではないでしょうか。二十世紀半ばには、世界人口が百億にも達すると予想されており、深刻な食料危機が到来するという論者も多い。「米は農家の主生産品である」と自信をもっていえる農業を復活させてほしいものだといネの花を見ながら考えさせられました。

美智子のこんな話

岸田美智子

特別養護老人ホームなどで働く「福祉のプロ」にサービスマナーを伝授する。そんな珍しい講習会が大阪市内で開かれた。大阪社会福祉研修センター(府社協)の主催。「マナーの分からない若い職員が増えた」という施設関係者の声を聞き、事務長の山田早苗さん(左)が企画した。来年度から介護保険が始まると、自治体が入所者を割り振るのでなく、入所者や家族が施設を選べるようになる。「選ばれる施設へ」。その危機感を反映してか、予想以上の約四百人が応募。障害者施



サービス心 介護にも

設や保育園からも職員が来る。講師は、フリーの人材育成コンサルタント増田知乃さん(左)。大手食品会社の人事部出身で、普段は企業や官公庁を回っている。電話の受け答えや名刺交換、お年寄りへの言葉遣いなど、マナーを二から解説した。基本は「ご利用者第一主義」。「『してあげる』ではなく、『させていただく』。意識の変革が大切ですよ」と、心こもった介護を強調した。「特養は、ホテルのようにならないと生き残れないとい

施設の職員にサービスマナーを伝授
介護保健制度開始が間近に迫り、制度もさることながらシステム作りや介護そのもののありかたなどが云々される昨今、平成11年8月14日付朝日新聞朝刊のコラム「木こもれび」に「サービス心 介護にも」と題した記事が出ました。
私は、この記事を読んでとても良い取り組みで、施設の職員が入所者を対等な人間

として見るきっかけになるのではと、大いに期待し拍手を送ります。
記事にもありますが、利用者を第一に置いて、「してあげる」「される」の縦の関係でなく、対等な人間としての関わりを基点に、心のこもった介護がなされることを望みます。

○連絡先
自立生活センター

「MY-DO(まいど)」

大阪市住吉区長居西1-9-12

(キミハウス1階)

TEL 06-6609-3133

平成11年8月14日付朝日新聞朝刊





サロン隣組ニュース

■「サロン淀川」10月の出会い
日 時; 10月17日(日)午後1時30分~4時
場 所; 大阪市淀川区三国本町2-14-3

「やすらぎ」

テ ー マ; 「自立した消費者になるには！」
楽しい買い物が悲しい買い物に
ならないように

パネラー; 徳田文子氏
消費生活専門相談員

会 費; なし

問い合わせ先; 淀川区社協 ボランティア・ビューロー
TEL06-6394-2900

■「サロンつるみ」10月の出会い
日 時; 10月3日(日)PM1:30~4:00
場 所; 大阪市立鶴見会館

[大阪市鶴見区横堤5-5-51]

テ ー マ; 「盲導犬と共に歩む」
~現在は4代目、名前はアルダ~

ゲ ス ト; 山下 瑞子氏

会 費; なし

問い合わせ先; 鶴見区社会福祉協議会
(ボランティアビューロー藤井)
TEL06-6913-7070

■《てくてく・すみよし》10月の出会い
日 時; 10月10日(日)午前10時~午後1時
場 所; 大阪市立長居障害者スポーツセンター

TEL06-6697-8681

内 容; 芸術の秋イベント
~福祉機器にアートの旋風を~

会 費; 500円

締め切り; 10月5日まで

問い合わせ先;

TEL06-6692-8411 (山本篤江)

■第10回「出会いボランティアサロン」

日 時; 10月23日(土)午後6時30分~
場 所; 岸和田市福祉総合センター

[岸和田市野田町1-5-5]

TEL0724-38-2321]

内 容; ~国際交流に学ぶ~

「愛ある人生への第一歩を」

パネラー; 川村百合子さん

(国際エンゼル協会 代表)

参加費; 無料

問い合わせ先; TEL0724-22-0686 (阪井健二)

(電話は午後7時以降にお断りします)

■「サロン アイ」10月の出会い

日 時; 10月9日(土)PM1:00~4:00

場 所; 生野区在宅サービスセンター

[大阪市生野区勝山北3-13-20]

「おかちやま」2階ボランティアルーム

TEL06-6712-3101]

内 容; ボランティア活動の基礎話

パネラー; 脇坂博史氏

大阪市ボランティア情報センター主査

会 費; なし

問い合わせ先; TEL06-6757-8574 (西浦清輝)

■「サロンいたみ」10月はお休みです。

奥田真祐美

リサイタル

—愛・その光と影の中で—

日時=11月6日(土)
開場18時、開演18時30分
会場=サンケイホール
出演=奥田真祐美
曲目=・しあわせな3日間

- ・理由もなく
- ・百万本のバラ
- ・私の孤独
- ・涙

ほか

演奏=鞍富真一グループ
構成・演出=アン・あんどろ
入場料=前売¥5000
当日¥5500
主催=サンケイ企画
お問い合わせ先=
〒545-0014
大阪市阿倍野区西田辺町1-20-34
TEL・FAX 06-6692-8774
(奥田真祐美音楽事務所)

お知らせ

△サロン・あべのV10月の出会い

日時:10月16日(土)

長居集合:午後12時30分

長居障害者スポーツセンター

エレベーター前(車に分乗希望者)

現地集合:午後1時30分

場所:大阪人権博物館

〔大阪市浪速区浪速西3-6-36〕

JR環状線「芦原橋」下車、南へ

徒歩8分

TEL 06-6561-5891

テーマ:「リパティおおさか」の見学会

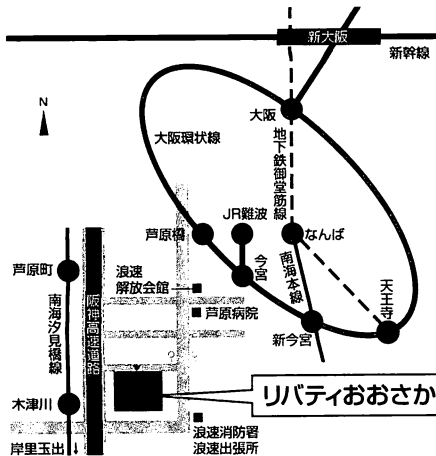
特別展「皮」今を生きる技

会費:なし(障害者手帳持参者と介護者)

一般参加者は入館料500円要

問い合わせと申し込み先:富田慶子

TEL 06-6691-1028



編集後記 FROM EDITOR

タイ国を代表する激辛スープ「トム・ヤン・クン」の中
にはいろいろな野菜が入っています。なかでもナンキョウ、
レモングラス、コブミカンというタイ国産野菜には強力な
発ガン抑制力作用があるらしいよ、って。158号の「タイ料理教室」を読んだ方から電話
をいただきました。ありがとうございました。(石)

編集人; サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>Vol.159[’99. 9.18.発行] 定価¥100.
代表; 山村貴司〒546-0033 大阪市東住吉区南田辺5-1-18 TEL 06-6691-9071
連絡先; 富田慶子〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 TEL・FAX 06-6691-1028
表題; 井上憲一・筆 文中イラスト; 石田美禰子
郵便振替口座; サロン・あべの 00950-9-26941
印刷; セルフ社〒546-0044 大阪市東住吉区北田辺町4-23-2ミスターDE2F TEL 06-6719-8212